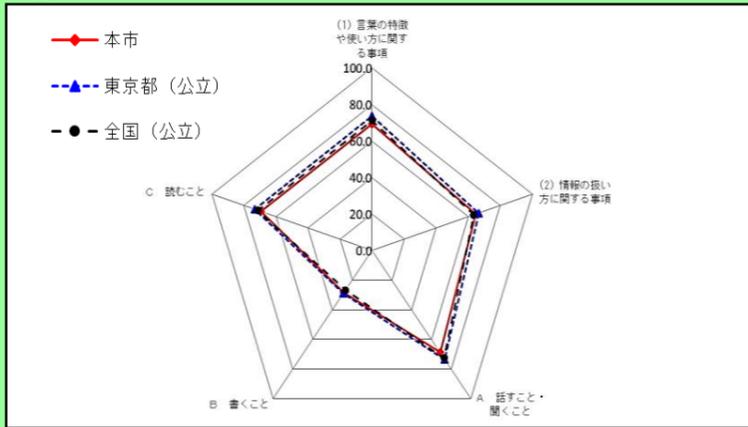


# 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてⅡ 各教科の結果及び課題（小学校 国語）

## ① 評価の観点の平均正答率

評価の観点	平均正答率（％）		
	本市	全国	東京都
知識・技能	68.0	68.9	71.6
思考・判断・表現	63.2	65.5	67.0

## ② 学習指導要領の内容の平均正答率



学習指導要領の内容		平均正答率（％）		
		本市	全国	東京都
知・技	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	69.4	71.2	73.6
	(2) 情報の扱い方に関する事項	64.6	63.4	66.5
思・判・表	A 話すこと・聞くこと	68.6	72.6	73.5
	B 書くこと	28.3	26.7	28.9
	C 読むこと	69.5	71.2	73.2

## ③ 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容	正答率（％）			無解答率（％）		
			本市	全国	東京都	本市	全国	東京都
1ー	米作りのときに記録していた【カード②】と【カード③】の下線部の関係として適切なものを選択する	知・技 2 情報の扱い方	65.7	64.7	68.2	5.3	1.8	2.8
1ニ	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く	思・判・表 B 書くこと	28.3	26.7	28.9	7.5	7.1	8.2
1三 (1) ア	【川村さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す（いがい）	知・技 1 言葉の特徴や使い方	53.2	52.8	56.7	5.3	4.8	5.2
1三 (1) ウ	【川村さんの文章】の下線部ウを、漢字を使って書き直す（きかん）	知・技 1 言葉の特徴や使い方	72.8	72.6	76.2	7.9	6.7	7.3
1三 (2) イ	【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気を付けて書き直したものと適切なものを選択する（くらべて）	知・技 1 言葉の特徴や使い方	90.5	93.1	93.0	2.5	1.0	1.6
1四	【川村さんの文章】の特徴の説明として適切なものを選択する	知・技 1 言葉の特徴や使い方	80.6	79.8	82.0	4.9	2.0	2.8
2ー	【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する	思・判・表 C 読むこと	88.6	90.0	90.9	3.5	1.2	2.0
2ニ	【相田さんのメモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する	思・判・表 C 読むこと	66.7	67.4	72.0	3.9	1.4	2.3
2三	相田さんが【資料3】の情報をどのように整理しているかについて説明したものと適切なものを選択する	知・技 2 情報の扱い方	63.5	62.0	64.8	4.0	1.6	2.5
2四	資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く	思・判・表 C 読むこと	53.3	56.2	56.8	9.2	8.5	10.8
3ー (1)	【インタビューの様子】の傍線部ア（～ということだと思いますが、合っていますか。）のように質問をした理由として適切なものを選択する	思・判・表 A 話すこと・聞くこと	70.1	73.6	75.4	10.7	3.7	5.7
3ー (2)	【インタビューの様子】の傍線部イ（～というのは、どのような姿ですか。）のように質問をした理由として適切なものを選択する	思・判・表 A 話すこと・聞くこと	71.2	74.0	76.4	11.3	4.1	6.2
3ニ	寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く	思・判・表 A 話すこと・聞くこと	64.3	70.2	68.6	20.6	14.3	18.0
3三	敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	知・技 1 言葉の特徴や使い方	50.0	57.6	60.2	20.0	9.5	12.4

### 現状・課題

① 評価の観点の平均正答率は、知識・技能は68.0%であり、全国より0.9ポイント、東京都より3.6ポイント低い。思考・判断・表現は63.2%であり、全国より2.3ポイント、東京都より3.8ポイント低い。

② 学習指導要領の内容の平均正答率は、知識・技能の「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」が69.4%、思考・判断・表現の「A 話すこと」が68.6%、「C 読むこと」が69.5%であり、全国及び東京都を下回った。

③ 調査の終盤の問題に無回答率が多く、質問紙調査において「調査時間が足りなかった」と答えていることから、調査時間内に十分取り組みなかったと考えられる。

### 具体的な設問例（大問2四） C 読むこと

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。

相田さんは、【資料1】、【資料2】、【資料3】を読み、運動と食事について分かったことをもとに、これから自分にできそうなことを考えてまとめようとしています。**あなたなら**どのようにまとめますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

#### <条件>

- 資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書くこと。
- 分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書くこと。
- 八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

<正答例> 運動には病気へのていこう力を高める効果があり、野菜やくだものは、体の調子を整えるもとになることが分かりました。だから、わたしは、健康のために、毎日体を動かし、野菜やくだものを食べるようにします。（97字）

### 指導改善のポイント

条件があるにも関わらず、誤答の児童が食事又は運動に関する資料の内容や考えのみを書いている場合は、複数の情報を関連付けながら、自分の考えをまとめることに課題があると考えられる。

○ 着目した語句を確かめたり、その語句に着目した理由を問いかけたりして自分の考えを表現できるように指導する。

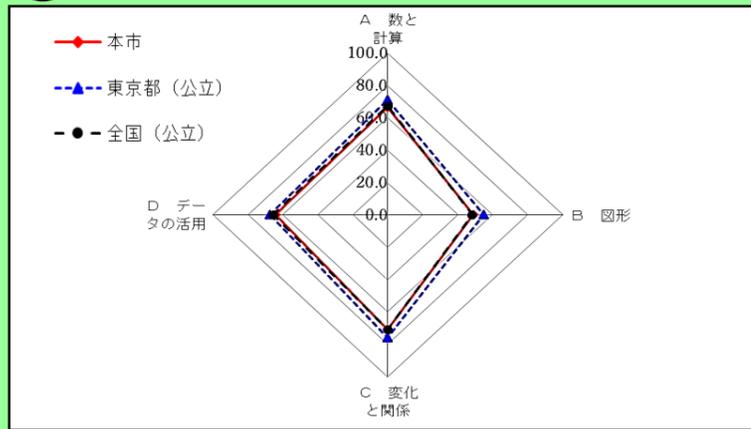
○ 「だから」「～ので」など情報と情報との関係を表す語句や「思う」「考える」など思考そのものに関わる語句を例示する。

# 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてⅡ 各教科の結果及び課題（小学校 算数）

## ① 評価の観点の平均正答率

評価の観点	平均正答率（％）		
	本市	全国	東京都
知識・技能	67.0	67.2	71.5
思考・判断・表現	55.8	56.5	61.2

## ② 学習指導要領の内容の平均正答率



学習指導要領の内容	平均正答率（％）		
	本市	全国	東京都
A 数と計算	66.5	67.3	71.0
B 図形	48.8	48.2	54.8
C 変化と関係	70.8	70.9	75.8
D データの活用	64.2	65.5	67.3

## ③ 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容	正答率（％）			無解答率（％）		
			本市	全国	東京都	本市	全国	東京都
1 (1)	5脚の椅子を重ねたときの高さを求める	知・技 C変化と関係	92.5	93.5	94.3	1.0	0.8	0.9
1 (2)	椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く	思・判・表 C変化と関係	89.5	88.5	90.9	0.5	1.0	1.2
1 (3)	椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さの求め方と答えを書く	思・判・表 C変化と関係	51.9	55.5	61.7	3.4	3.4	3.5
1 (4)	全部の椅子の数を求めるために、50×40を計算する	知・技 A数と計算	81.3	80.8	82.5	1.1	1.2	1.3
2 (1)	テープを2本の直線で切ってきた四角形の名前と、その四角形の特徴を選ぶ	知・技 B図形	55.0	59.8	65.0	0.8	0.7	0.9
2 (2)	テープを折ったり切ったりしてできた四角形の名前を書く	知・技 B図形	86.8	87.2	89.6	2.5	2.9	3.3
2 (3)	切った開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く	知・技 B図形	28.7	24.9	35.2	4.4	3.7	4.2
2 (4)	テープを直線で切ってきた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く	思・判・表 B図形	24.6	20.8	29.5	3.9	4.0	4.6
3 (1)	2種類の辞書を全部並べた長さを求める二つの式について、それぞれどのようなことを表しているのかを選ぶ	思・判・表 A数と計算	69.2	70.3	73.4	1.5	1.4	1.9
3 (2)	3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかどうかを判断する	思・判・表 A数と計算	55.0	56.7	62.4	3.5	4.0	4.4
3 (3)	(151+49)×3と151×3+49×3を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める	知・技 A数と計算	69.3	72.4	75.0	2.8	2.5	3.0
3 (4)	66÷3の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ	思・判・表 A数と計算	47.6	47.6	54.2	5.3	3.9	4.8
4 (1)	示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ	知・技 C変化と関係	49.5	46.0	56.2	2.5	2.4	3.0
4 (2)	運動カードから、運動した時間の合計が30分以上である日数を求める	知・技 A及びD	76.2	75.7	78.6	5.0	4.3	5.0
4 (3)	二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分かることを書く	思・判・表 Dデータの活用	53.1	56.2	56.0	15.0	13.8	15.9
4 (4)	二次元の表から、読み取ったことの根拠となる数の組み合わせを選ぶ	知・技 Dデータの活用	63.3	64.6	67.2	4.8	4.9	5.6

### 現状・課題

①評価の観点の平均正答率は、知識・技能は67.0%であり、全国より0.2ポイント、東京都より4.5ポイント低い。思考・判断・表現は55.8%であり、全国より0.7ポイント、東京都より5.4ポイント低い。

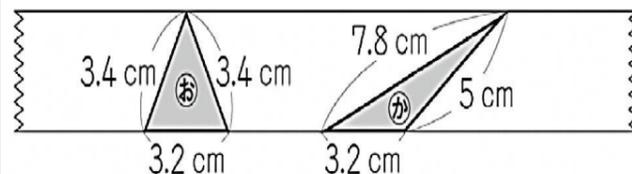
②学習指導要領の内容の平均正答率は、「A 数と計算」が66.5%、「C 変化と関係」が70.8%、「D データの活用」が64.2%であり、全国及び東京都を下回った。

③大問2(2)のように正方形の意味や性質について理解することはできているが、それらを活用して問題から必要な情報を見だし、その理由を記述することに課題がある。

### 具体的な設問例（大問2(4)） B 図形

高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を記述する。

えいたさんたちは、テープを直線で切って、下の図のような（お）と（か）の2つの三角形をつくります。下の（お）と（か）の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを書きましょう。



- （お）の面積のほうが大きい。
- （か）の面積のほうが大きい。
- （お）と（か）の面積は等しい。
- （お）と（か）の面積は、このままでは比べることができない。

<正答> 【番号】3

<正答例> 【わけ】三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができます。（お）と（か）の底辺は、どちらも3.2cmなので等しいです。（お）と（か）の高さは、テープのはばがどこも同じ長さなので等しいです。だから、（お）と（か）の面積は等しいです。

### 指導改善のポイント

誤答であった児童は、三角形の高さについて正しく理解できていない、又は、2つの三角形の高さが同じであるということに気付いていないと考えられる。

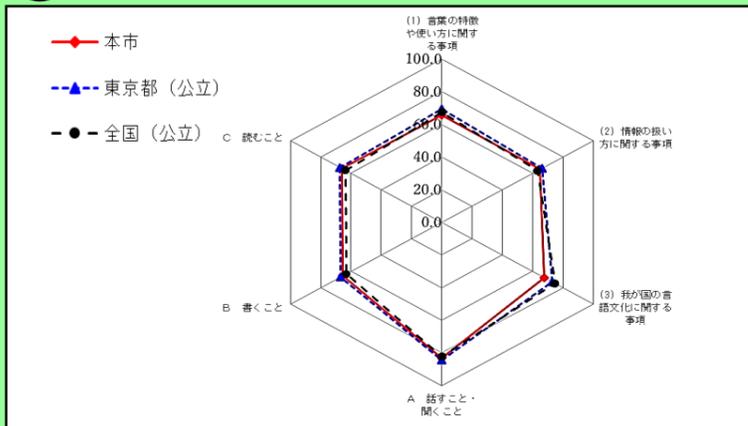
○具体的な数値が示されていない場面において、問題を解決する際に必要な情報を主体的に見いだしたり、適当な数値を当てはめたりして考えることができるように指導する。

# 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてⅡ 各教科の結果及び課題（中学校 国語）

## ① 評価の観点の平均正答率

評価の観点	平均正答率 (%)		
	本市	全国	東京都
知識・技能	66.4	69.4	70.1
思考・判断・表現	71.6	69.7	72.9

## ② 学習指導要領の内容の平均正答率



## ③ 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容	正答率 (%)			無解答率 (%)		
			本市	全国	東京都	本市	全国	東京都
1一	インタビューの前に準備したメモについて説明したものとして適切なものを選択する	思・判・表 A 話すこと・聞くこと	87.5	87.5	89.2	0.1	0.1	0.1
1二	インターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する	知・技 2 情報の扱い方	64.3	65.1	66.0	0.3	0.2	0.2
1三	相手の話を聞いて発した質問について、述べ方の工夫とその意図を説明したものとして適切なものを選択する	思・判・表 A 話すこと・聞くこと	76.6	76.6	79.2	0.1	0.2	0.3
1四	インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く	思・判・表 A 話すこと・聞くこと	85.9	82.5	84.7	8.7	10.8	8.7
2一	「落胆する」の意味として適切なものを選択する	知・技 1 言葉の特徴や使い方	93.2	91.1	92.5	0.3	0.2	0.2
2二	二つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する	思・判・表 C 読むこと	66.8	63.0	67.4	0.3	0.4	0.5
2三	それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する	思・判・表 C 読むこと	76.0	74.2	77.8	0.3	0.3	0.4
2四	自分がこれからどのように本を読んでいきたいかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く	知・技 思・判・表 3 言語文化	68.5	67.5	69.7	3.0	3.9	3.5
3一	レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する	思・判・表 B 書くこと	57.7	54.3	58.8	1.0	0.6	0.7
3二	漢字を書く（おし量って）	知・技 1 言葉の特徴や使い方	37.9	43.9	46.6	9.6	10.7	10.0
3三	「『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く	知・技 2 情報の扱い方	65.8	61.8	66.3	1.4	2.1	2.1
3四	「『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く	思・判・表 B 書くこと	73.3	72.1	74.7	10.3	10.2	9.5
4一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（いひける）	知・技 3 言語文化	61.1	82.5	74.4	3.8	3.6	4.1
4二	原文の中の語句に対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す（いと）	知・技 3 言語文化	74.0	74.1	75.1	4.0	4.8	4.9
4三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	思・判・表 C 読むこと	51.8	50.0	54.1	19.5	20.7	18.1

### 現状・課題

①評価の観点の平均正答率は、知識・技能は66.4%であり、全国より3.0ポイント、東京都より3.7ポイント低い。思考・判断・表現は71.6%であり、全国より1.9ポイント高く、東京都より1.3ポイント低い。

②学習指導要領の内容の平均正答率は、知識・技能の「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」が65.6%、「(3)我が国の伝統文化に関する事項」が67.8%であり、全国及び東京都を下回った。

③大問2一のように事象や行為、心情を表す語句について理解することはできているが、大問3二のように文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。

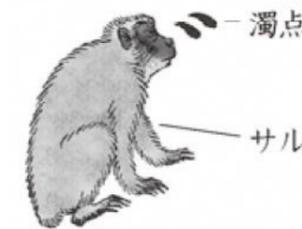
### 具体的な設問例（大問3二）

#### (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

文脈に即して漢字を正しく書く。

——線部のひらがなを漢字に直し、楷書で丁寧に書きなさい。

(略)  
 ■「判じ絵」とは何か  
 「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解読して楽しむものである。ただし、【図1】のように、描かれているものと意味してるとが異なるため、解読する際には「判じる」こと、つまり、知っていることをもとに「おし量って考える」ことが必要になる。言ってみれば、なぞなぞやクイズのようなものである。(略)



【図1】ザル

<正 答> 推（し）

### 指導改善のポイント

「押（し）」などと解答した生徒は、「押し量る」という言葉になじみがないなど、文脈に即して意味を捉えることができず、同じ訓をもつ漢字を書いたものと考えられる。

○知識の習得だけでなく、実際に書く活動を通して、漢字を正しく用いる態度と習慣を養うことができるよう指導する。

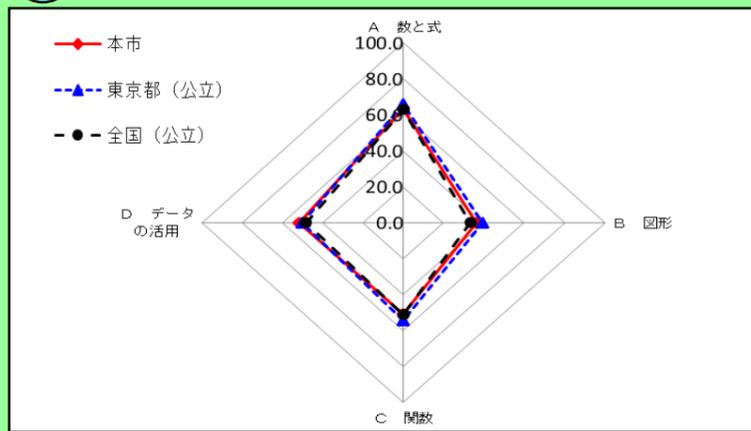
○文章で表す際、適切な漢字を選択できるよう意味を確認したり、辞書を引いたりして文章を校正・推敲するよう指導する。

# 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてⅡ 各教科の結果及び課題（中学校 数学）

## ① 評価の観点の平均正答率

評価の観点	平均正答率 (%)		
	本市	全国	東京都
知識・技能	58.1	55.7	58.7
思考・判断・表現	41.0	41.6	45.8

## ② 学習指導要領の内容の平均正答率



学習指導要領の内容	平均正答率 (%)		
	本市	全国	東京都
A 数と式	63.5	63.0	66.0
B 図形	36.4	33.2	39.2
C 関数	50.8	51.2	54.3
D データの活用	52.0	48.5	50.4

## ③ 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容	正答率 (%)			無解答率 (%)		
			本市	全国	東京都	本市	全国	東京都
1	-5、0、3、4、7、9の中から自然数を全て選ぶ	知・技 A数と式	46.4	46.1	46.9	0.1	0.1	0.1
2	$12(x/4 + y/6)$ を計算する	知・技 A数と式	82.9	80.5	85.3	3.7	4.0	2.9
3	空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ	知・技 B図形	39.5	30.4	37.1	1.3	0.8	0.9
4	yがxに反比例し、比例定数が3のとき、xの値とそれに対応するyの値について、正しい記述を選ぶ	知・技 C関数	42.9	42.8	44.2	0.7	0.5	0.7
5	女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める	知・技 Dデータの活用	53.1	46.1	46.5	9.4	11.0	10.5
6 (1)	はじめの数が11のとき、はじめの数にかけられる数が2、たす数が3のときの計算結果を求める	知・技 A数と式	88.9	88.9	89.9	2.1	2.4	2.0
6 (2)	はじめの数にかけられる数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成する	思・判・表 A数と式	59.6	58.8	63.2	8.5	10.6	8.7
6 (3)	はじめの数にかけられる数がいくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する	思・判・表 A数と式	39.9	40.9	44.7	23.1	24.7	21.9
7 (1)	1961年～1975年の四分位範囲を求める	知・技 Dデータの活用	72.8	65.7	68.2	4.4	5.6	5.1
7 (2)	「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する	思・判・表 Dデータの活用	30.1	33.6	36.5	19.6	22.8	19.9
8 (1)	晴天大学が駅前を通過した時間と新緑大学が駅前を通過した時間の差について、グラフのどの2点のx座標の差として表れるかを書く	知・技 C関数	57.9	57.5	62.3	8.1	8.6	8.2
8 (2)	二人の選手のグラフが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ	知・技 C関数	59.7	61.7	65.8	2.0	1.1	1.3
8 (3)	グラフや式を用いて、新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつくのが、6区のスタート地点からおよそ何mの地点になるかを求める方法を説明する	思・判・表 C関数	42.9	42.8	44.9	15.4	13.2	12.7
9 (1)	2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する	思・判・表 B図形	32.3	32.1	39.9	20.6	24.7	20.0
9 (2)	二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く	知・技 B図形	37.4	37.0	40.5	15.4	14.2	13.7

### 現状・課題

① 評価の観点の平均正答率は、知識・技能は58.1%であり、全国より2.4ポイント高く、東京都より0.6ポイント低い。思考・判断・表現は41.0%であり、全国より0.6ポイント、東京都より4.8ポイント低い。

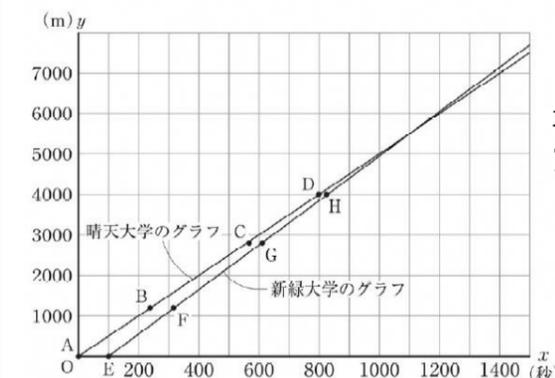
② 学習指導要領の内容の平均正答率は、「C 関数」が50.8%であり、全国より0.6ポイント、東京都より3.5ポイント低い。

③ 大問8(2)のように事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈すること、大問8(3)のように事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。

### 具体的な設問例（大問8(3)） C 関数

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する。

（略）6区の道のりは12000mあり、6区のスタート地点では、晴天大学が先にスタートし、新緑大学が100秒後にスタートしました。（略）晴天大学の6区の選手がスタートしてからの時間をx秒、6区の選手が走った道のりをymとし、（略）次のような2つの直線に表したところ、晴天大学が $y = 5x$ 、新緑大学が $y = 5.5x - 550$ と表されました。



（3）新緑大学が晴天大学に追いつくのが、6区のスタート地点からおよそ何mになるかを考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いておよそ何mの地点になるのかを求める方法を説明しなさい。

ア 晴天大学のグラフと新緑大学のグラフ    イ 晴天大学の式と新緑大学の式

＜正答の条件＞アを選択し、次の(a)について記述しているもの、又は、イを選択し、次の(b)について記述しているもの。  
 (a) グラフの交点から、yの値を読み取ること。  
 (b) 方程式を解いて、yの値を求めること。

### 指導改善のポイント

連立方程式をつくり、それを解いてxの値を求めた生徒は、方程式を解くことはできるが、求めるyの値とxの値が表す意味を混同して捉えたものと考えられる。

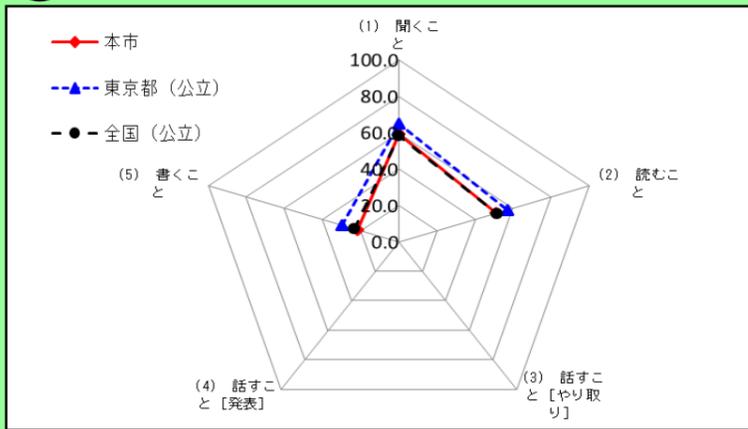
○様々な問題を数学を活用して解決できるようにするため、日常的な場面の問題について、表、式、グラフなどを用いて問題解決する場面を設定し、それらをどのように用いたかについて数学的に説明できるように指導する。

# 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてⅡ 各教科の結果及び課題（中学校 英語）

## ① 評価の観点の平均正答率

評価の観点	平均正答率 (%)		
	本市	全国	東京都
知識・技能	49.7	51.5	57.9
思考・判断・表現	40.1	38.8	44.8

## ② 学習指導要領の内容の平均正答率



学習指導要領の内容	平均正答率 (%)		
	本市	全国	東京都
(1) 聞くこと	59.2	58.4	64.7
(2) 読むこと	50.9	51.2	57.2
(5) 書くこと	21.4	23.4	29.6

## ③ 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容	正答率 (%)			無解答率 (%)		
			本市	全国	東京都	本市	全国	東京都
1(1)	ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	知・技 1 聞くこと	75.7	79.0	83.1	0.1	0.1	0.2
1(2)	道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	知・技 1 聞くこと	66.6	64.4	70.8	0.1	0.2	0.2
1(3)	買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	知・技 1 聞くこと	48.7	49.8	57.2	0.3	0.2	0.2
2	忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する	思・判・表 1ア 聞くこと	67.2	61.1	70.4	0.4	0.2	0.2
3	バーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する	思・判・表 1ア 聞くこと	43.5	41.2	46.7	0.3	0.2	0.3
4	水問題についての話を聞き、話し手の最も伝えたい内容を選択する	思・判・表 1ウ 聞くこと	53.8	54.8	59.9	0.8	0.4	0.5
5(1)	ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する	知・技 2 読むこと	57.8	56.0	61.4	0.1	0.3	0.3
5(2)	事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する	知・技 2 読むこと	60.7	64.5	70.2	0.4	0.3	0.3
6	友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する	思・判・表 2ア 読むこと	36.4	35.9	44.1	0.4	0.3	0.3
7(1)	図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する	知・技 2 読むこと	57.0	59.8	65.6	0.4	0.3	0.4
7(2)	図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する	思・判・表 2イ 読むこと	37.3	34.7	40.0	0.8	0.7	0.8
8(1)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する	思・判・表 2ウ 読むこと	56.3	56.1	62.0	1.2	0.8	0.9
8(2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	思・判・表 5ウ 書くこと	19.7	19.5	25.2	25.2	29.3	24.4
9(1)①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	知・技 5ア 書くこと	36.6	40.4	48.5	6.0	6.6	5.7
9(1)②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	知・技 5ア 書くこと	16.2	20.9	27.4	10.7	10.9	9.3
9(2)	メールの英文を依頼する表現に書き換える	知・技 5ア 書くこと	28.2	29.0	36.9	22.8	24.5	19.9
10	学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く	思・判・表 5イ 書くこと	6.5	7.4	10.1	18.5	21.4	17.1

## 現状・課題

①評価の観点の平均正答率は、知識・技能は49.7%であり、全国より1.8ポイント、東京都より8.2ポイント低い。思考・判断・表現は40.1%であり、全国より1.3ポイント高く、東京都より4.7ポイント低い。

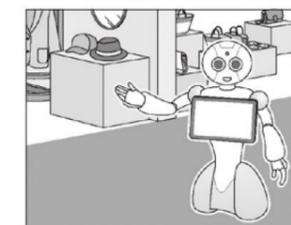
②学習指導要領の内容の平均正答率は、「(2)読むこと」が50.9%、「(3)書くこと」が21.4%であり、全国及び東京都を下回った。

③調査の終盤の「(5)書くこと」の問題に無回答率が多く、大問8(2)のように日常生活や身近な社会の話題について、自分の考えやその理由などを書くことに課題がある。

## 具体的な設問例（大問8(2)） (5) 書くこと

社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書く。

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?



(2) ブラウン先生の質問に対するあなたの考えと理由を英語で簡潔に書きなさい。

<正答の条件> 次の条件を満たして解答している。

- ① 書き手の意見に対する自分の考えを書いている。
- ② ①の理由を書いている。

<正答例> ・ I agree with you. If robots do our housework, we will have more time.  
 ・ I don't agree with you because people will lose their job.

## 指導改善のポイント

書き手の意見を踏まえて英文を書くことに課題がある場合は、問題の意見文を読み取ることができていない、又は理由を書くために必要な表現が身に付いていないことが考えられる。

○読む目的に応じて要点を捉えた上で、内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域を統合した言語活動を行う。